

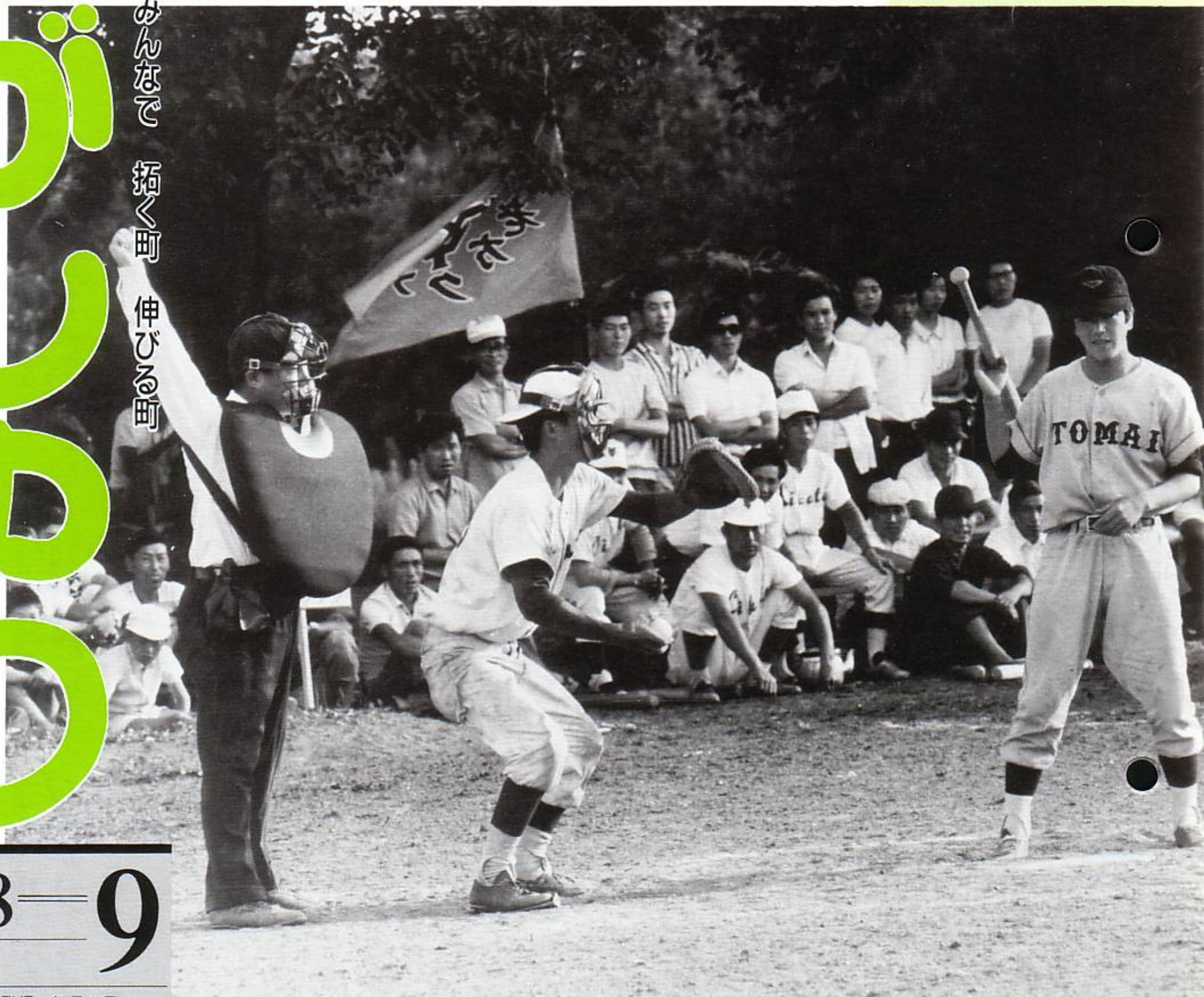
広報

びがしゅわ

豊かな自然みんなで
拓く町 伸びる町



◀ヘリによる農薬の空中散布が七月三十一日、八月十二日、同二十日に行われ、全町水田面積の七五割にあたる約七百㌔を一斉に防除しました。



1988—9
No. 402

昭和63年9月1日発行・毎月1日
編集・発行 / 秋田県東由利町役場総務課

- 佐々木知事3年ぶりに来町
- 町成人式
「79人が大人の仲間入り」
- 第4回ふるさと交流
「ふるさとの自然味覚を“満喫”」
- カメラ・アイ「町民運動会」
- 特集・歴史を刻む
社会人野球大会



▲夏の若人の祭典である町社会人野球大会が第三十回を数え、八月十六日に記念大会が開かれました（記事10面）。写真は第十一回大会（四十四年）で熱戦を展開する選手たち。

◀戦争で犠牲となった三百十二人の英霊を偲び、町戦没者追悼式が八月二十日有鄰館でしめやかに行われました。遺族など百二十人が参列し、諸英霊の安らかな眠りを祈りました。

佐々木知事3年ぶりに来町 道路整備などの要望に前向きな回答



八塩ダム・町民いこいの森を視察する知事一行。
右から柳田由利地方部長、畠山町長、佐々木知事、古屋地方課長

佐々木喜久治秋田県知事が八月四日日本町を視察しました。全県の市町村を二年に一度巡回する恒例の「知事市町村訪問」のために訪れたもので、本町へは昭和六十年五月以来三年ぶり（昨年都合で今回に延期）の来町となりました。

同日午後県地方課長、由利地方部長、由利地方総合庁舎の各所長らと共に本町入りした佐々木知事は、国道一〇七号線宿区大琴バイパス、町特別養護老人ホーム東

光苑、八塩ダム・町民いこいの森、出羽丘陵開発事業・朴の木沢団地、みどり保育園を視察。この後有鄰館で、町議会議員、各団体の役員など百二十人余りと約一時間三十分にあたり懇談会を行いました。

懇談会では佐々木知事が「県経済は回復しつつあり、今後これを維持できるよう各種施策を実施していきたい」、「人口減少が続いているが、これは高卒及び大卒者の県外流出や出生率の低下などが原

因。昨年若者の県内定着などの具体的な施策を実施している」、「農業だけが昨年マイナス八割の成長率で、なおも続くと思われる。自主流通米生産をさらに進めると共に、販売体制の確立に努めていきたい」など、県政の現況などについて述べた後、「久し振りに東由利町を視察したが、町づくりが計画的に進められていることに心強く感じた。これからも計画的なより良い町づくりを進めてほしい」とあいさつしました。

続いて畠山町長が歓迎のあいさつと町の現況について報告した後、佐々木知事が出席者からの要望等について前向きな回答を示しました。要望事項と知事回答の概要（一部割愛）は別記の通りです。

—国道一〇七号線の整備計画についてうかがう

知事 整備中の高速道路横手インターチェンジの開通とあわせて整備したい。現在同インターの開通予定が一、二年早まりつつあり、これに遅れないように進めたい。

—岩館バイパスの早期着工について要望する

知事 現在調査段階であり、石沢川の改良との調整を図りながら、できるだけ早く取りかかりたい。

—県道仁賀保矢島館合線（石高須郷田間）の早期竣工を願う

知事 町との話し合いでルート決定が可能となったので、六十四年

度着工予定で準備を進めている。

—町道須郷田跡見坂線を早急に県代行路線に昇格させてほしい

知事 用地買収が終わらないと認定できない。できるだけ早く済ませてほしい。

要望事項と知事の回答

—県道山崎鴻屋十文字線の未改良部分の整備促進を望む

知事 橋のかけ替えに多額の予算が必要。もう一年待つてほしい。

—最近の農業情勢は農業青年にとって不安なことばかり。県はど

んな指導方法を考えているか

知事 量と質の問題を重点に一貫した指導体制を確立している。これからの農業は消費者のニーズにあったものの生産と、各種作目の組み合わせによる複合経営の確立が必要と思われる。農家個々が米に依存した考えを直すと共に、やるのは自分だという意識を強く持ち、新しい情勢に対応した取り組みをしてほしい。今後は農家一戸当り五十―百畝規模の形成を指導方針にすると共に、品種改良のため種苗センターを来年度に建設する予定である。

●臨時議会●

助役に畑山氏を再選 一般会計に4,275万円を追加

臨時町議会が八月一日に開かれ、昭和六十三年一般会計補正予算案など八案件を審議。いずれも原案通り可決し閉会しました。可決された主な案件は次の通りです。

◇ ◇ ◇

昭和六十三年東由利町一般会計補正予算について▼歳入歳出の現計予算にそれぞれ四千二百七十五万円を追加した。これにより歳入歳出予算の総額は二十五億四千五百九十九千円となった。主な内訳は▽県営地すべり事業負担金〓千四百六十七万円▽道路新設改良費(用地購入費ほか)〓千三百二十三万円▽普通財産取得費(用地購入費)〓千四百八十五万円



畑山 良一氏

財産の取得について▼指名競争入札により除雪ドーザーを一台、千七百三十六万円で購入することにした。

昭和六十三年発生農業用施設災害復旧事業の施行について▼今春発生した水害の下(農道五十路、宮の前(水路二百三十一路)の融雪災害箇所を昭和六十五年までの予定で復旧工事を行うことにした。



佐藤 松之助氏

功労者文部大臣表彰
前町教育委員長の佐藤松之助氏(宇戸坂・80歳)が昭和六十三年度地方教育行政功労者として、このほど文部大臣から表彰されました。佐藤氏は蔵小学校、玉米中学校長歴任ののち、町教育委員、同委員長として本町の教育振興に多大な功績を残しておられます。



小松 与惣雄氏

小松氏に
地方自治功労者表彰
八月二十九日の「県の記念日」に、前町議会議員の小松与惣雄氏(松沢・72歳)が地方自治功労者として県知事から表彰されました。小松氏は七期・二十八年間町議会議員を務められ、この間各常任委員長、副議長、議会選出の監査委員など多くの要職を歴任されました。

お待ち
ました
しました

上里集落道いま完成!

住家が密集しながらも、改良が遅れていた上里線(上里地内)が、用地提供などの協力により今春晴れて改良工事に着手。このほど同地内を通り石滝線に抜ける延長五百三十四路(幅員五路)の立派な舗装道路が完成しました。

これまで上里地内の道路は「乗用車一台通るのがやっと。冬は車が通れない」などと悪評が多く、早期改良を地域住民が長年の悲願としていました。

待望の集落道の完成を祝い、上里自治会では九月三日、畠山町長などを招き祝賀会を開くことにしています。



完成した上里地内の集落道・上里線

森林組合

遠藤組合長が辞任

後任に小松文一氏を互選



小松 文一氏

町森林組合の遠藤治郎助組合長(十二の前・65歳)がこのほど一身上の都合により退任されました。このため同組合では八月五日に理事会を開き、新組合長に同理事の小松文一氏(中通・63歳)を互選しました。

小松氏は昭和四十四年から五十

町功労者 小松氏、佐藤氏死去

町功労者小松運次郎氏(新町・80歳)が七月二十二日、同佐藤次郎氏(蔵新田・82歳)が八月十七日、病氣療養中のご逝去を悼み慎んでお悔やみ申し上げます。

祝ご成人おめでとうございます



79人が大人の仲間入り

晴れて大人の仲間入りをした若者たちを祝う成人式が八月十五日有鄰館で行われました。今年成人を迎えたのは昭和四十一年四月二日から四十二年四月一日までに生れた七十九人で、このうち成人式には六十八人が出席しました。

式典は午前九時に始まり、新成人を代表して加藤俊明くんに成人証書が、遠藤慶次くんと佐藤文香さんに記念品が畠山町長から贈られました。このあと畠山町長が「成人を迎える年は『やろう』とする気力に通ずる節目の年。この大事な年にあたり新成人の皆さんに、ふるさとを誇りに思いこよなく愛する人であってほしいことと、口先よりも実行する『やる気人間』になつてほしいことをお願いする」と祝辞を述べました。

新成人を代表しての「誓いの言葉」では、高橋勝義くんが「ようやく念願の大人の仲間入りを果たした。ここまで育ててくれた両親にあらためて感謝したい。これから『心』をより一層成長させるために、今日の自分を様々に入念にチェックして、自分を反省し鍛え上げ、日進月歩するように努力していきたい」と力強く述べ、式典が閉じられました。

このあと記念講演が行われ、秋

田中央交通株式会社代表取締役社長で県観光連盟会長、五城目町教育委員長などの要職をもつ渡辺靖彦氏が「あすの秋田を拓くもの」と題して講演。渡辺氏は秋田県の現状や県民性、今後の課題などを話したあと、「やればできるということ」を念頭におき、発想の転換のできる人間になってほしい。また、社会では結局は人と人とのつながりが、ものごとを大きく左右するので、人間関係を大事にしていくってほしいことをお願いしたい」と新成人を励ました。

引き続き行われた新成人意見発表では、菊地邦彦くん、嶺石美和子さん、佐々木信幸くんの三人が成人を迎えての感想などを発表、それぞれの意見が新成人たちから共感をよんでいました。

記念撮影のあと同会場で祝杯をあげ、新成人たちは心ゆくまで二十歳の門出を祝い合いました。



畠山町長から成人証書を受け取る新成人代表の加藤俊明くん

新成人意見発表から

自分に望むこと、町に望むこと



嶺石 美和子さん
(上通・大学生)

「どうとう成人式だな」という気持ちです。でも私はまだ学生で、「自分のことにまだ責任を持てないのに」という不安もあります。成人式を迎えたからといって何かが変わるわけではないけれど、これから更になんかを知り、成人の自覚を持ちたいと思います。私は現在仙台に住んでいますが、帰省するたびに少しずつ町が変わってきていると感じます。半年に一度の長い休みにしか帰らないせいもあるかも知れませんが、以前より町づくりに力が入っているなという気がします。このことによって人が住みやすい、暮らしやすい町になり、楽しみも増えるということは大変いいことだと思っています。今ではどのようなふうになっているか、どんな施設が増えているかと楽しみに帰ってくるようになりました。

半数の新成人が 町政に「関心ない」

図1・あなたは町政にどの程度関心をお持ちですか

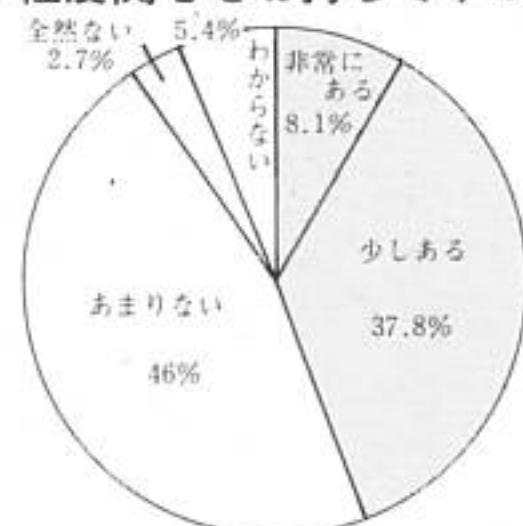


図2・国・県・町の政治のうち、どれに一番関心がありますか

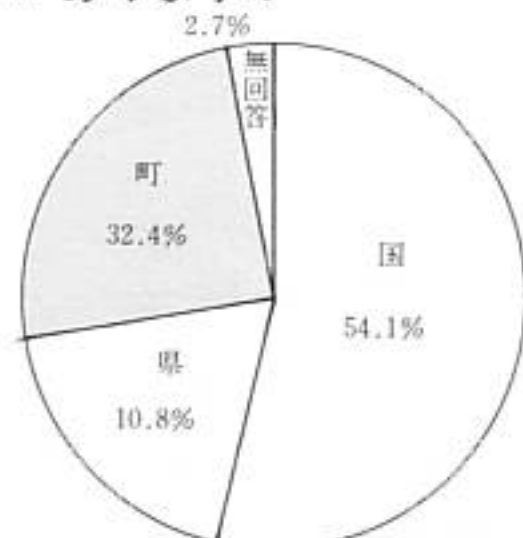


図3・国・県・町の政治のうち、あなたの生活にどれが一番ひびくと思いますか

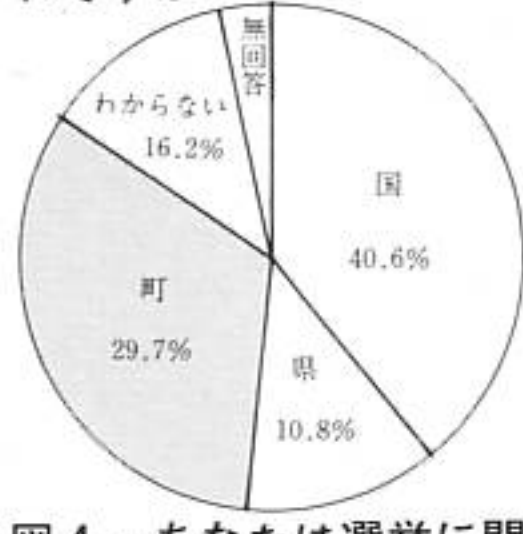


図4・あなたは選挙に関心を持っていますか

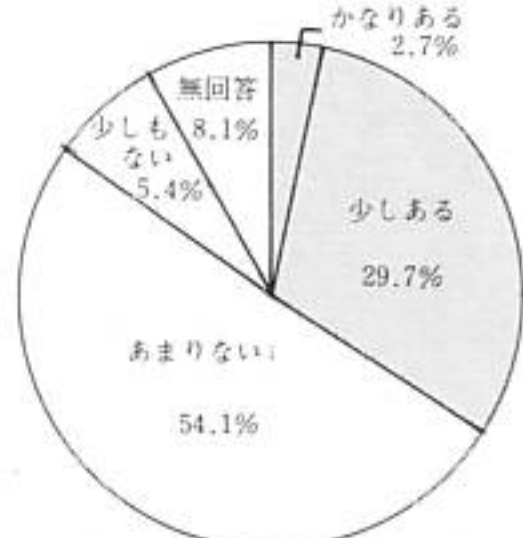


図5・一番関心のある選挙を一つだけあげてください



成人式の当日、町選挙管理委員会では恒例の「新成人の意識調査」を行いました。対象は成人式に出席した六十八人で、このうち五四%にあたる三十七人から回答が得られました。ここではその調査結果の一部について紹介します。

まず町行政への関心度（図1）について四五・九%が「関心がある」四八・七%が「関心がない」と答え、「わからない」を除くと全体の過半数が関心を持っていないことがわかりました。

また国・県・町の政治に対する関心度（図2）では、高い順に国五四・一%、町三二・四%、県一〇・八%で、町政よりも国政に対する関心が高くなっています。これは次の「国・県・町の政治のうちあなたの生活に一番ひびくのはどれ」（図3）と「一番関心のある選挙は」（図5）の回答結果から納得できそうです。

このほか、明るい選挙を推進するために「学校教育や社会教育で政治学習を強化する」、「青年の模擬議会や意見発表会等を開く」などの意見がありました。

ただ残念なことは、少し離れたところの人たちには東由利町が全く知られていないことです。今はあちこちで「町おこし」が盛んなので、東由利町でも町の特徴になるものを探して、もっとアピールしてみたらどうでしょうか。それにもう一つの希望としては、東由利町らしさをなくさないでほしいということです。仙台では、政令指定都市を目指して合併や開発などを行っています。私からみると何だか「杜の都」という雰囲気はなくなってきたように感じます。私達の町ではこのようなことのないように、今の良さを生かした町づくりをしてほしいと思います。今度帰省した時には町がより住み良くなっていることに期待し発表を終わります。

八月十五日。この日は、いまわしい戦争の終結の日。町ではこの日を成人式の日を選び、若者の新しい門出を祝う日とした。二十歳の「たのび立ちの日」にした意味は、限らない平和を若者に託す、先覚たちの知恵でもある。成人式を終え、社会的洗礼をうけた若人が今年七十九名。心からおめでとうを申し上げたい。

町長随想

成人式に思う

町長 畠山 亮二 郎

今から四十一年前に、私は成人を迎えた。昭和二十二年のことである。私の新しい人生のスタートの年でもあった。このころ日本は、

敗戦による心の痛手がひどく、思想の廃退、民主主義のはきちがいなどによる混乱、経済破たんによる闇物資の横行、強盗、窃盗、脅迫、暴行などによる秩序の乱れなど、無法状態が毎日続いた。混沌たる世情不安に心を痛め、新生日本の将来を憂いながら、正義感に燃え、憂国の至情やみがたく、私はこの年に警察官を志願した。若き二十歳の青春時代。

だが最近特に気にかかることが多い。それは、最近の若者たちによる凶悪事件や事故の中味が、その人間性として人格に係わる事象だからである。自らの若い時代を振り返り、それぞれ

の心の痛みがわかるだけに暗い気持ちになり、テレビのスイッチを切りたい衝動にかられる。少なくとも、戦前戦中には考えられなかったこと、許されなかったことが当然のように

にいたわり合う人々が多い国になっただけなのに幸せかと、しみじみ思う。そうはいっても、戦争を知らずに、戦後の暮らしの苦しみを知らないで育った若人には、理解が難しいかも知れない。精神的な荒廃を憂うのは、私どもの年代の取り越し苦労かも知れないが…。

成人になられた方々に、このひと言を贈りたい。『愛の心を見失ったら…それは成人ではない』

ふるさと、味覚を満喫

「ふるさと東由利の自然・民情に触れてもらおう」とする恒例の『ふるさと交流』が今年も八月十五日に開かれ、お盆帰省客など六十人余りが参加しました。

午前九時に主会場の老人いこいの家明楽荘に集合した参加者は、すいかやとうもろこしなど畑作物の収穫を体験する「田舎体験コース」と、「魚釣り大会コース」に分かれ、今夏一番と思われる暑さに見舞われながらも自然との楽しい触れ合いを体験しました。

午後は「町内めぐり」で道路や施設などを見学。大きく変貌、発展した町の様子に、参加者は驚きと感激の様子をみせていました。

会場に戻り記念撮影のあと、明楽荘庭に設置した「ふるさと広場」で交流会を開催。由利牛のバーベキューなどふるさとの味覚に舌つづみを打ちながら、郷土芸能の舟打場の獅子舞いを鑑賞するなど、ふるさと東由利を満喫した一日となりました。

第4回

東由利町

ふるさと交流



▲田舎体験コースでは町農業近代化ゼミナールの「おはようほ場」を借用し同会員が無農薬で栽培したすいか、とうもろこし、じゃがいもなどを収穫。畑に入るのも初めてという都会っ子たちは大はしやぎしながら初体験を楽しんでいました



▲鯉や鮒釣りに腕前を競い合った魚釣り大会コース。大物賞は35斤の鯉を釣った小松嘉明くん（写真・館合新田）、大量賞は鮒など15匹を釣った大日向将也くん（蔵新田）ら4人が獲得しました



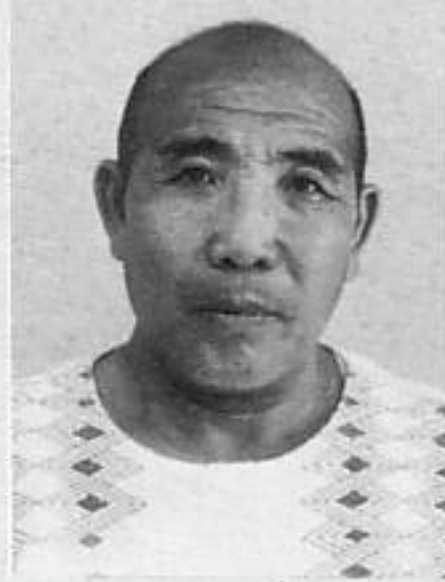
▲涼を求め急拠ボツメキの水源を訪ねた田舎体験コース参加者。さわやかな風と湧き出る水に「最高」と絶賛



▲昼食前に行われた餅つきでは何十年ぶりがで持ったという杵の感触に帰省客は一喜一憂

今年のは妹の家族四人を含む総勢六人で帰省し、早速ふるさと交流に参加させていただきました。午前中は農作物の収穫体験で、いも掘り、西瓜、とうもろこし、南瓜もぎと種類も豊富で、都會育ちの子供たちも初めての体験とあって、大騒ぎをしながらも楽しみながら収穫させていただきました。

故郷の発展にきざむ



東京都世田谷区玉川
阿部 春三さん

午後の町内めぐりで見学した出羽丘陵開発事業などは、私たちの想像もつかなかったことで、目を見張るばかりでした。維持管理など今後の問題も抱えていると思いますが、町発展のため総力をあげて頑張っていきたいと思っています。

交流会では、飲むほどに、酔うほどに昔話に花が咲き、また郷土芸能の獅子舞いは本当に懐かしう拝見させていただきました。

かけがえのない我が故郷東由利：その発展ぶりをしっかりと眼に刻み込み、なごりを惜しみながら帰路につきました。



▲おまじかねの交流会では「ふるさとの味覚」が食べ放題。「これが由利牛か」とパーベキューにかぶりつきビールを飲み干す光景には、幸せがほのかに感じられました。

満天の星空に感動

主人の田舎には三、四年に一度帰省しておりますが、今年は町主催の「ふるさと交流」に参加させていただき、子供とも楽しい一日を過ごさせていただきました。東京生れの私には、自然に触れる機会が少なく、田舎で見た満天の星空には感動しました。

上京後二十年近くになる主人も、



東京都足立区南花畑
小松百合子さん

町の発展には驚いた様子で、田舎も狭く感じると話しておりました。着々と発展している町を誇りに思っている様子です。帰省時には必ず魚釣りに出かける主人ですが、行きたびに魚が少なくなっているようで、高瀬川の汚染も深刻になっているのかと言っております。私のふるさととは東京ですが、東由利町は子供とも第二のふるさとして、これから帰省した時には、澄んだおいしい空気と、水と、目に一杯の緑を体験して参りたいと思っております。ふるさと交流でお世話くださった皆様、本当にありがとうございました。



▶交流会には300年の伝統を誇る舟打場の獅子舞いが登場。帰省客らは軽快な囃子と華麗な舞いに心をおどらせ、ふるさと東由利を満喫していました。

楽しかったふるさと交流

父が東由利町の出身なので、お盆には毎年家族で遊びに行きます。今年は私と母と弟の三人でふるさと交流に参加しました。



福島県郡山市大槻町
小松 聖美さん

私たちは弟がつりをやりたがっていたので、三人でつりに参加することにしました。はじめてで、なかなかうまくいきませんでした。が、それでも二匹つれました。となりの人がよくつれていたのので、どこから来たのか聞いたら、地元の人でした。その人は親切にいろいろ教えてくれました。午後からは町内見学をしました。いろいろ見ましたが、私がすごいと思ったのは黄色い桜です。今度ぜひ一度見てみたいと思います。見学が終わると芝生の上でパーベキューをごちそうになりました。とてもおいしかったし楽しかったです。むかえにきた父は「お父さんのふるさととは良いところだろう」といいました。私もお母さんもそう思いました。次の日、帰るのがとても残念でした。今度は冬に来て、大平スキー場でスキーをしてみたいです。

晴
れ



今月のドキュメント
カメラ・アイ



ちびっ子お待ちかねの「動物リレー」。「カンガルー」って、ほんとにこんなふうにはねるのかな



飲むのは簡単、でも持つのは大変な酒ビン。見ている方もつらくなった「ペア力自慢」でした

第20回町民運動会
雨ニモメゲズ
みんなハツスル



自治会対抗種目トップの「つなひき」。すさまじい闘いが繰り広げられました（写真・時雨山）



おなじみ「スウェーデンリレー」では各チーム20～50代の男女が、自慢の俊足をフル回転。



ご婦人殺到の、初登場「地場産競争」。「このときばかりはスイカのタネはノド越しで食べました」



突如襲った雨も何のその。「ボール送り」を続行し滑って転ぶハプニングの続出に会場は笑いの渦



第二十回町民運動会が八月二十八日台山グラウンドで約三千人の町民が参加して行われました。

この日、午前中は強い日差しを時折雲がさえぎるとい、比較的のびやすい天候に恵まれたものの、午後の種目に入ってから間もなく天候が急変し、強い雨が会場を襲撃しました。このため、自治

会対抗種目の「ボール送り」は雨の中強行したもの、同種目で新登場の「背着リレー」と、大会のハイライトである分館対抗種目全部を中止せざるを得ないという結果となりました。雨天による競技中断は、昭和五十四年以來のことです。

しかし、今大会には昨年より七

自治会多い三十九自治会が参加し、つなひき、スウェーデンリレー、ボール送りに心地よい汗を流すと共に、地域の和を発揮しました。各種目の結果は次の通りで、つなひきは太琴が七年ぶりに優勝、総合は家の下と太琴が同点で、家の下が初、太琴が六年ぶりに優勝を果たしました。

競技の結果 (敬称略)

自治会対抗種目

〈総合の部〉

①家の下及び太琴③館合新田

〈つなひき〉

①太琴②館合新田③高下屋

〈スウェーデンリレー〉

①太琴②家の下③山崎

〈ボール送り〉

①家の下②祝沢・茂沢③館合新田

その他種目

〈親子三代リレー〉

①小野嘉吉、義雄、嘉史(中通)

②遠藤広志、広男、一広(小倉)

③大庭喜右エ門、喜一郎、明和(舟木)

④小松吉男、喜一郎、喜恒(下通)

⑤柴田浩、和尋、和歌子(須郷田)

⑥長谷山悦雄、喜悦、哲也(石高)

〈一、〇〇〇歳競争・小学男子〉

①畑山孔(八塩小)②出原聖紹

〈同〉③佐藤直人(同)

〈同・女子〉

①大庭優子(太琴小)②佐々木静恵(同)③大庭志穂子(同)

〈同・中学女子〉

①池部純恵(東中一年)②工藤福子(同一年)③畠山尚子(同二年)

〈一、五〇〇歳競争・中学男子〉

①小松幸生(東中二年)②小野崇(同一年)③小松幸夫(同一年)

〈幅跳び〉

①畠山誠(大吹川)②阿部寿之(太琴)③三浦徹夫(田代出身)

社会人野球大会

ますます盛り上がる若人の祭典



第三十回社会人野球大会の開会式で、選手宣誓を行う中通クラブの小野義雄選手

第30回東由利町社会人野球大会

袖山オリオンズなど二十回以上出場の一チームを表彰

新優勝旗はパワーズの手に

町社会人野球大会が初めて開かれたのは昭和三十四年。以来同大会は「夏の若人の祭典」として今年で実に三十回を数えました。古い広報紙をめぐってみると、第十回記念大会を紹介した記事（東由利村報第一三四号）には「第一回当時ねじり鉢巻きに地下たび姿で活躍した紅顔の青年たちも今は妻子をかかえる父ちゃん。そして年を追うごとに盛んになる本大会のチームのよき指導者となっている」とあります。色とりどりのユニフォームに身を包んだ今日の大会、そして第一回当時の選手が父ちゃんならぬ、おじいちゃんとなっていて、同大会の長い歴史がしみじみ感じられます。今号では社会人野球大会の第三十回大会を記念し、大会の模様と、これまで同大会を支えてきた方々の中から初代会長で元村助役の小松忠亮さん、審判長を長年務めた渡辺幸夫さん、初期大会当時選手で町野球協会副会長の小松正武さんに、それぞれの思い出などについて寄稿していただきましたので紹介します。

第三十回東由利町社会人野球大会は八月十六日から三日間にわたって町民・台山両グラウンドで開かれました。開会式は初日午前七時から町民グラウンドで行われ、優勝旗等の返還及びレプリカの贈呈のあと、第三十回大会を記念し、山町長から町野球協会（長沼久男会長）に新優勝旗が贈られました。また、大会運営に長年貢献された役員や事務局員五人に感謝状と記念品が、過去二十回以上連続出場の五チームに表彰状と記念品が、長沼会長から贈られました。受賞者等は次の通りです。

【感謝状贈呈者】

▽渡辺幸夫さん（下通）▽大極富男さん（神奈川県）▽渡辺勝男さん

ん（下小路）▽菅原賢治さん（八日町）▽佐藤孝一郎さん（中通）

【表彰状贈呈チーム】

▽袖山オリオンズ（30回）▽役場（28回）▽蔵ローズ（26回）▽宿（22回）▽法内フラワーズ（20回）

昨年の屈辱晴らし、パワーズが六年ぶり二度目の優勝

記念すべき第三十回大会には昨年と同じ十九チームが出場し三日間にわたり熱戦を展開しました。

この結果決勝には昨年と同じ顔ぶれの、三連覇を狙う野球狂と六年ぶり二度目の優勝を目指すパワーズが進出し激戦を繰り広げました。試合は、パワーズが初回に犠牲フライで一点を先取。三回に野球狂がスクイズで同点としたものの、五回にパワーズがタイムリー安打で二点を追加。五、六、七回と毎



真紅の新優勝旗は長沼会長からパワーズの手に…喜びの表彰式

回ランナーを出しながらも野球狂は得点できず、結局パワーズが三対一で昨年の屈辱を晴らし真新しい真紅の優勝旗を手にしました。最高殊勲選手には決勝戦を完投したパワーズの嶺石一人投手、敢闘選手には同チームの根田和春捕手と野球狂の小野昭美投手が選ばれ、閉会式でそれぞれに表彰状と記念品が贈られました。

回	優勝チーム名	参加 チーム数
1	玉米教員	13
2	玉中B	13
3	玉中B	13
4	玉中B	12
5	蔵ローズ	10
6	蔵ローズ	11
7	新町	13
8	蔵ローズ	12
9	老方クラブ	14
10	法内フラワーズ	16
11	老方クラブ	17
12	役場	14
13	老方クラブ	16
14	老方クラブ	16
15	老方クラブ	16
16	老方クラブ	23
17	老方クラブ	23
18	佐藤林業	24
19	玉米青年会	22
20	野球狂	25
21	野球狂	24
22	役場	25
23	野球狂	26
24	パワーズA	29
25	役場	26
26	野球狂	22
27	東由利メッツ	22
28	野球狂	18
29	野球狂	19
30	パワーズ	19

東由利町社会人野球大会優勝チーム一覧
(S34~63年)



第11回大会(昭和44年)で、老方クラブ対宿戦のひとコマ

歴史を刻む

第30回大会をむかえ、

若人の祭典として 益々の発展を祈る

昭和36年村野球同好会会長
昭和37〜45年村野球協会会長



小松 忠亮さん
(78歳・館西)

まずもって第三十回社会人野球記念大会の開催に心からお祝いとお慶びを申し上げます。

省みれば昭和三十四年、小中学校の先生方が村の若者たちとの交流の場として村野球同好会を結成。同三十六年、当時村助役で野球好きの私に会長の席が与えられたのでした。同年の第三回大会は十三チームが出場し盛会に行われ、教員と青年たちの熱気でいっぱいでした。

した。しかしこの当時の大会運営費は選手一人一人が出し合うという、選手たちには実に気の毒なことでした。このため私は村長に願ひ優勝カップを寄贈してもらおうと共に、翌三十七年に村野球協会を結成、夏の若人の祭典、村のお盆の一大行事とすることを旗印に村内一円から寄付集めをするにしましたのです。ところが当時は今とは違い村民の野球に対する理解が

不足で、寄付集めに大変苦労したことが偲ばれます。また当時で思い起こされることは、試合中の選手の骨折で、この補償問題には頭を痛くし、結局お見舞いだけで勘弁してもらったことに今も情けなさを感じています。

当時とは隔世の感を持つ今日の大会ですが、若人の祭典として灯を絶やすことのないよう、益々の発展をお祈りします。

審判は黒衣に徹せよ

第13〜第28回大会審判長



渡辺 幸夫さん
(53歳・下通)

正規のルールでの運営が必要なのは「」の考えが、己の非才を省みず、審判への道を進んでしまったのです。

ひとたびグラウンドに出ると審判員の不足から、三試合や四試合の連続は毎度のことで、大会が終れば体重は激減、足の裏は水ぶくれ、親指のツメはスパイクで押されて紫に変色し、それが完治するころには再び春のシーズンが待つ

ている。といった十数年でありました。そのような中で私は「審判は決して目立つてはならない。主役は常にプレーヤーであって、審判はゲーム進行の補助役でなければならぬ。黒衣に徹することこそ審判員の宿命である」の信念で続けさせて参りました。

ボロボロのたった一冊のルールブックだけを友として…。

私が社会人野球大会に出場するようになったのは協会が発足した昭和三十六年からで、当時強豪だった玉中OBの一員でした。このころは今より出場チーム数が少なかったものの、大会に向ける選手たちの意気込みは大きく、大会が近づくにつれ、練習のためのグラウンドの取り合いが激化したものです。グラウンドの確保は交代であたり、当番が練習後の慰労会に

備え重箱とドロブクを持参。慰労会は夜を徹して行われ、若者たちの討論の場と化していききました。このような時代から三十年がたち、今なお衰えることなく大会が続けられていることを本当に喜ばしく思います。しかしながら、社会構造の変化で、大半が農家だった昔と比べ選手のほとんどが勤め人という現実の中で、ナイター設備のないことが残念でなりません。

第40回記念大会は 専用の野球場で

東由利町野球協会副会長



小松 正武さん
(43歳・高戸屋)

また、専用の球場がないということも私たち関係者にとっては誠に不運なことでした。ついては今後、このことを町へ強く要望すると共に、第四十回大会には専用の野球場で試合が行われることを選手一同で祈願したいものです。

最後に、私の青春時代に、多くの友人をつくり、語り合いの場をつくってくれた社会人野球大会に心から感謝します。

東由利歴史散歩

縄文時代後期の
片符沢遺跡Ⅰ

どすい どぐう
土鯉や土偶など
珍しい遺物が出土



文・畑山昭二（町史編集室）
発掘当時の片符沢遺跡Ⅰ

片符沢遺跡Ⅰは県営圃場整備事業の域内にあることから、計画どおり工事が行われると、水田下の遺跡が破壊される危険があるため、昭和五十四年六月から八月にかけて発掘調査したものです。

この遺跡は田代字石高地内にあり、石高渡辺忠之助さん作業小屋北と、高瀬川の流れにはさまれている左岸の第一河岸段丘にあって、川の水面から約五メートルの高さになっています。現在は整理された水田で、長谷山清・斎藤キチヨさんの所有です。

発掘物から縄文時代後期（今から三千五百年前）と推定され、広さ約七千平方メートル、発掘調査したのはそのうち1/4です。いままでの耕地整理や耕作によって壊さ

れてしまった所もありますが、遺跡中心部は四層になっていて、一層が表土で約二十センチ、二層が多量の礫を混入している遺物包含層で約二十センチ、三層は粘性のある細かい土の中に遺物とともに土壌墓が検出され約十センチ、四層は地山の状態でした。

出土した遺物の量は整理用の箱で五十箱（軽トラツク一台）です。また、検出された遺構は土壌墓が五十一基、埋蔵（人を埋葬）が一個のほか各種の土器や耳飾り、土鯉（魚釣りの重し）、土偶二体など珍しいものが出土しています。



土 偶

高瀬小学校に 野外教室誕生

創立5年を記念し、
PTAが労力奉仕で整備

高瀬小学校PTA（長谷山誠明会長）で同校創立五年を記念し進めていた環境整備事業が、このほど立派に完成しました。

校舎北側遊休地に校名を花で刻んだ大花壇・フラワールード・階段を、地続きで木島久雄さん（本莊市）が所有する山林の一部を無償で借用し野外教室を、会員の労力奉仕のほか地元建設業者や鋳金業者などの協力を得て整備したもので、野外教室には立派なあず



校舎裏山に完成した野外教室で勉強する高瀬小の子供たち

ま屋のほか、七十余種の野草が観察できる野草観察園などが設けられています。

整備作業は学年ごとに分担し会員の休日を利用して行われ、八月二十一日、着工以来二ヵ月半ぶりで完成。会員らは立派に出来上がった野外教室を散策し、「子供たちの学習の場としてだけでなく、地域住民の憩いの場としても活用していきたい」と完成を喜び口をそろえて話していました。



高橋宏幸氏原作アニメ映画
「チロヌップのきつね」上映
高瀬小創立5年記念事業で

話題いっぱい はるかどトピックス

「おはよう圃場」が 「豊作」で大活躍 保育園児を圃場に招待

町の農業後継者グループ農業近代化ゼミナール（小野武志会長）の「おはよう圃場」が今年も豊作で、すいか・とうもろこし・じゃがいも・かぼちゃ・枝豆など量・質ともに申し分なく実りました。このため八月二日には永慶保育園の園児を招待しイモ掘りを、同十五日には町の「ふるさと交流」に開放、また同十九日には「青空市場」で安値で即売し喜ばれました。



豊作の畑に招待を受け、イモ掘りを体験する永慶保育園児

高瀬小学校では「創立五年記念式典」を九月十八日（日）同校体育館で開くことにしています。当日は午前九時から式典、十時から学芸発表が行われるほか、十一時十五分から本町上通出身の絵本作家・高橋宏幸氏の講演会が行われる予定です。また午後一時三十分からは同氏原作のアニメーション映画「チロヌップのきつね」が上映される予定です。一般の方も入場できますので、この機会にぜひ鑑賞されることをおすすめします。

ヤングレポート さわやかさん



畑山トワ子さん (20歳)
館合新田・秋田信英(株)勤務

高卒と同時に秋田信英(株)に勤めて2年。仕事も板につき、テキパキこなす仕事ぶりは社内でも評判です。「つらいこともあります、そんなときは車の中や家で、ボリュームいっぱい好きな音楽を聞きます。すると胸の中のモヤモヤもスッカリ」と、チャーミングな目をくるくるさせて話してくれます。自分の性格などを「おとなしくて無口。自分の行動には慎重な方ですが、ときどき早トチリをして失敗したりすることもあるあわてんぼです。他人に迷惑をかけないことがモットーです」。お母さんを一番に尊敬し「お金をためて温泉でのんびりさせたい」と話す、とても親孝行なさわやかさんでした。

駐在所だより

●お年寄りのみなさんへ

お年寄りの歩行中の死亡事故の中で一番多いのが、道を横断している場合です。死亡者十人中、七人以上という割合になっています。道路を横断しようとして駐車している車の陰から飛び出すことは事故の原因となります。自分に車が見えているからといって、運転している人からも見えているとは限らないのです。

●自分の体力を過信しないこと

次に多いのが道の左側を歩いているときです。人間は後ろに目がありませんし、特にお年寄りの場合はとっさのときの動きがにぶく、車にひっかけられやすいのです。自分の体を過信せず、交通ルールを守り、安全な生活を送りましょう。

充実したPTA活動を 進めるために…

町連Pが研究集会開催

新しい時代を担う地域の子供たちが、郷土を愛し、豊かな心を持ち、健全な児童生徒として育つために、家庭、学校、地域としてどうあるべきかを研究し合う、「東由利町連合PTA研究集会」が九月五日午前九時から有隣館で開かれます。

今年の研究主題は「充実したPTA活動を進めるために、どのような研修や地域活動をすればよいのか」で、テーマごと四分科会に分かれ話し合いを行ったあと、午後には全体会が開かれ分科会の報告と質疑応答が行われます。

また、全体会前の午後一時十分から約一時間半、NHK秋田放送局長の佐々木節郎氏を講師に「いま、地域とは」と題した講演会が行われます。

町を担う子供たちの健全育成のため、多数の参加が望まれます。

館合婦人消防隊に 軽可搬ポンプ配備

日本消防協会から交付を受ける

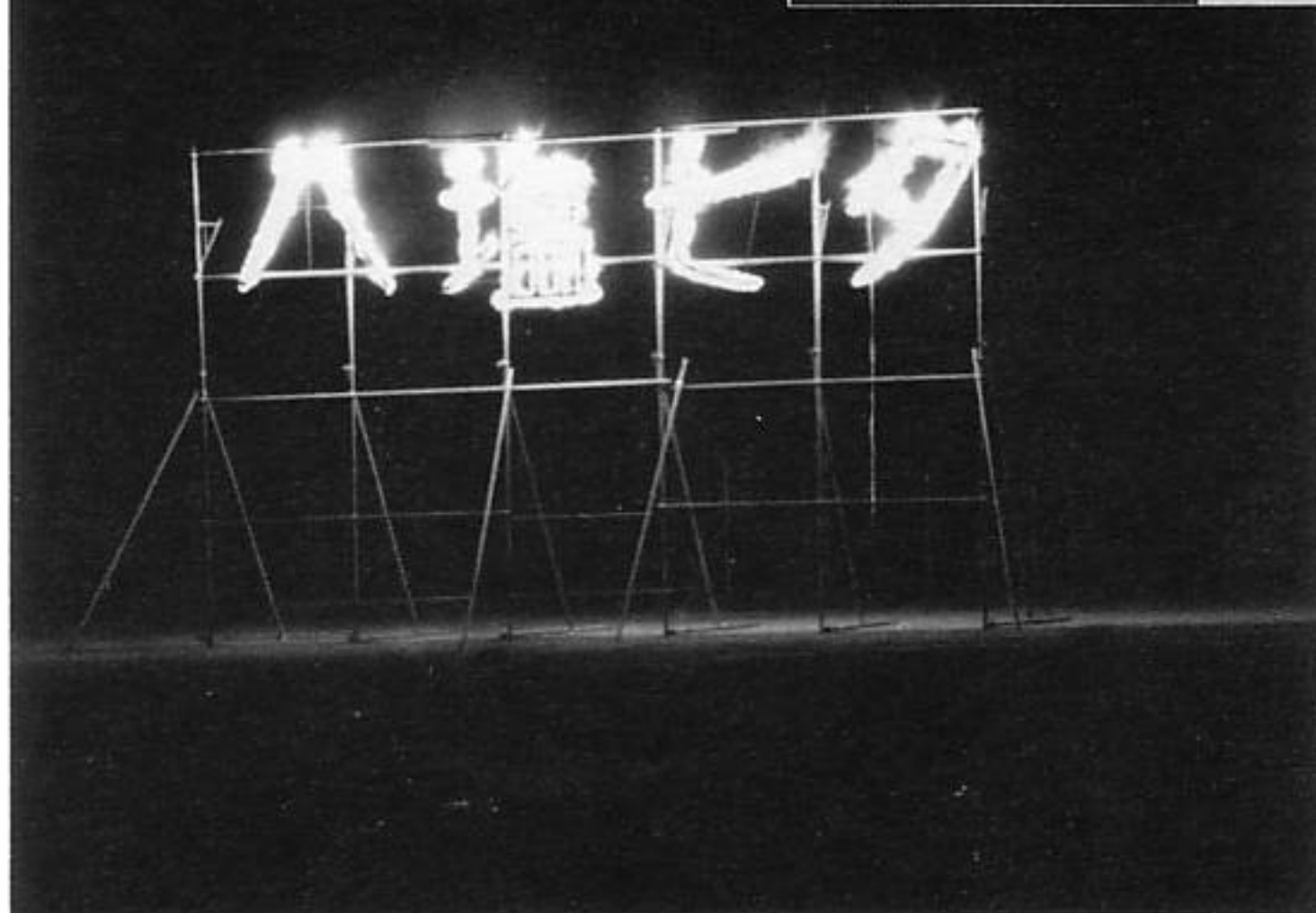
館合婦人消防隊(遠藤正子隊長)に日本消防協会(笹川良一会長)から軽可搬消防ポンプ一台が交付されました。これは消防力の充実強化のため同協会が、県内の消防署等に救急車、ポンプ積載車など二十五台、消防団等に軽可搬消防ポンプ百三十六台を交付したもので、八月二十六日河辺郡雄和町の町民体育館で行われた交付式に畠山町長、遠藤隊長らが出席、笹川



会長から最新式の軽可搬消防ポンプを受け取りました。

交付された軽可搬ポンプと交付式に出席した館合婦人消防隊員

まちかど スナップ



夜空彩る「八塩七夕」 撮影(%)・菅原健太郎くん(東由利中3年)

八塩小学校恒例の夏休み行事「七夕集会」。6年目を迎え今年も8月10日、八塩小グラウンドなどで華々しく行われました。写真はメインイベントの「八塩七夕仕掛け花火」で、児童代表4人の点火により「八塩七夕」の文字が炎でくっきりと暗闇に出現、八塩小の真夏の夜空が美しい炎で彩られました。

町民のみなさんの撮ったスナップ写真をお寄せください。掲載させていただいた場合には町特製のテレフォンカード(50度数)を進呈します。

この紙面は、みんなで作るページです。町民の交流の場としてどしどし参加してください。自薦、他薦どちらでも結構です。広報担当までお知らせください。

わたしの
お父さん、お母さん

ぼくのおとうさんは
おこりんぼです。



大琴・ささきえいこうくん(5さい)

伝承・昔の遊び ⑥

トンボとり

黒淵・高沢ハナミさん



トンボは人が近ずいたりすると、大きな目をクルリと回して気配をうかがいます。垣根などにとまっ



絵・石渡力造さん

小学生のころ母の実家へ行くのが何よりの楽しみでした。しかし母の実家へは「ハシゴ橋」(雪崩の恐れのある場所に危険を避け架けられた橋)を四つか五つ渡らな



埼玉県上福岡市阿部清さん(53歳蔵出身)

ふるさとを想う ⑥ 「ハシゴ橋」の思い出

川に架けたその橋は雪の表面から一層位下の方に架かっているように見え、うまく降りないと踏み外しそうで怖いのです。また、橋から雪の上にあがる時も滑り落ちはしないかと、これまた怖いのです。一晩泊まって次の朝天候が悪いと「昨日来る時に出来ていたハシゴ橋の降り口や上がり口はあるだろうか」と、朝ご飯も喉を通らないほど心配でした。早々に「帰る」と言うと「一人では大変だから送ってやる」と言われやっと安心してご飯を食べたものです。今ではそんな橋はないそうですが、私は忘れられない思い出の橋です。

た大きなトンボを見つけると「トンボトンボ目回せ」と唱えながら、指をぐるぐる回してつかまえるようにしたものでした。私たちの小さいころは家の手伝いと遊びはいっしょで、子守りコは毎日のことでした。初秋の澄みきった空にトンボがとび交うことになる、幼いころのトンボとりのことが無性に懐かしく思い出されます。



ものしり家庭版 知っている便利、くらしの豆知識 ⑥

医薬品による副作用被害の救済制度をご存じですか？

医薬品が市販されるまでには、多数の安全性・有効性を調べる試験が積み重ねられます。しかし、このような厳しい安全対策の基準をクリアした医薬品も、服用する人の体質や体調などによって、まれに、副作用を発生させることがあります。

このため昭和五十四年十月に、「医薬品副作用被害特別基金」が法律に基づいて設立されました。現在は「医薬品副作用被害救済・研究振興基金」に名称が変わっています。

救済の対象となるのは、使用上の注意を守るなどの適正に使用したにもかかわらず、医薬品によって発生した副作用であること。そのうえで、副作用による①疾病(入院を必要とする程度のもの)②障害(日常生活が著しく制限される程度以上のも)③死亡したときに、救済給付を受けることができます。

必要な書類の用紙は、医薬品副作用被害救済・研究振興基金に備えてあり、患者や家族の申し出に応じて、送られます。

詳しいことは同基金 ☎ 〇三ー九八八ー二一〇一にお確かめください。

健康ライフ

手足口病が

流行っています

指導・小松医院・小松良竹先生



米粒から小豆大の楕円形の扁平な水泡が、手の平、足の裏、手足の指の腹側に、口腔内では主にほの粘膜及び舌に出る感染症で、大部分は五歳以下の子供にかかります。感染力が強く三年周期で流行し、発熱などの全身症状は通常軽く症状のない場合もありますが、口腔内の病変では時に疼痛を伴うこともあり、食事が困難な場合には、食前にキシロカインゼリーを局所に塗布します。無菌性髄膜炎を併発した場合は入院して安静を保ち、対症療法を要します。

How to cooking

わが家の自慢料理

大根の ビール漬け

館西・遠藤テルさん

食欲をそそる
粹な味



ピリツとした辛みに、
ほのかなビールの香り

① 大根は皮をとり、
太めのものは二つ割りにする



③ 調味料を
大根にすりつけて
並べる



② 調味料を合せる
粉カラシはお湯で練り
砂糖、塩、米酢を加えて
よく溶かす



④ ビールを注ぎ入れ
押しフタをし、重石をして
漬け込む



〔材料〕大根5キログラム・ビール1本
・砂糖1キログラム・塩1合・米酢3百

ミリット・粉カラシ2袋

子から ホッソネ本音親から

八塩小学校四年
遠藤みゆきさん

館西
遠藤寿々子さん



私は学校から帰るといつも妹のこもりをやっています。だからこもりだけじゃなく、どこかへつれていってもらいたいと思います。つれていってもらうこともありますが、いつも本荘のデパートくらいなので、たまには別の所へもつれていってみたいです。月曜日とかに友だちのはなしをきくと、秋田にいった人や道川に海水浴にいった人、ほかにもいっぱいいました。だからわたしもいつてみたいです。



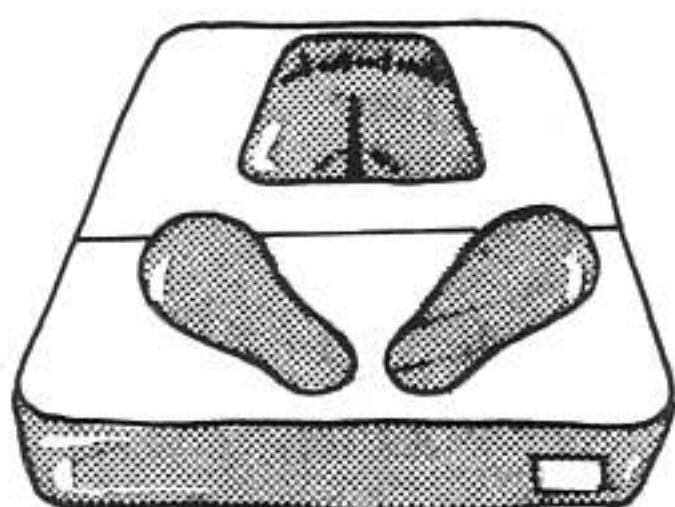
学校から帰ると妹のめんどうをみてくれるので、いそがしいときはとてもたすかります。小さい子のせわができれば、大人になってからもやさしい人間になれると思うので、これからもおねがいしますね。それから、宿題や家での勉強をなまけないでやればもつといいと思います。たまには遊びにつれていってあげたいと思うので、勉強のほうもいっしょうけんめいがんばってくださいね。

婦人の健康

肥満は予防が可能です

肥満は高脂血症（中性脂肪が高い、コレステロールが高い、あるいはこの双方が高い）を伴いやすく、これを介しても心筋梗塞を起こしやすくなったり動脈硬化の促進因子となったりします。

動脈硬化そのものは、年齢や体質と関係が深く、それらを阻止することは全く不可能ですが、これに比べ肥満は、治療も予防も可能なのです。



肥満予防のためには一週間に一度、家族全員が体重を測定して記録しておくことをおすすめします。体重は朝起きて排尿した直後に測るともっとも良い値が得られます。標準体重を二〇%以上オーバーしているようでしたら、使うカロリー以上のものを取り過ぎているわけですから要注意です。もう一度自分の体重を見直してはいかがですか。

（保健婦・高橋鈴子）

東由利の文芸

ゆりかご句会七月句会から

◆ 桐下駄にくつろぐ母は夏惜しむ
高橋秀子（横渡）

◆ 砂浜に足跡残し夏去れり
小笠原亮子（蔵新田）

◆ 客絶えて浜の家から夏果てぬ
小野貞子（蔵新田）

◆ 秣山大方刈られ夏の果
鈴木徳蔵（舟木）

◆ 野の花を色紙に描き夏惜しむ
阿部澄子（蔵）

◆ 百合一輪匂ふ客間に通さるる
小松メサ子（下小路）

初孫です

湯出野・小松静佳ちゃん・10ヵ月
秀栄さんと知子さんの長女



おばあちゃん・サキさんの一言「伝い歩きが出来るようになりました。女の子のくせにきかんぼうですが丈夫な子に育ってほしいです」

8月号「東由利の文芸」中、小笠原トミ（蔵新田）は遠藤トミ（小倉）、阿部澄子（岩館）は同（蔵）の誤りでした。おわびして訂正します。



郷土の野草

文・写真 小松忠正

42

ツリフネソウ

(ホウセンカ科)

日本全土、朝鮮、中国にもある一年草で、湿り気のある山麓や林の中などに多く見られます。高さは五十センチメートルから八十センチメートル位になります。葉は広皮針形で柄があり、互生します。七月から八月にかけて紅紫色のほらがいのような花を数花吊り下げます。和名は「釣船草」で、花の形が帆船をつり下げたような形なので、このようにいわれます。花の色が黄色なものをキツリフネ、別の名をホラガイソウといいます。

善意

町社会福祉協議会に、ご芳志として小松運一さん(新町)、長谷山昭一さん(湯出野)、佐藤文一さん(蔵新田)より金一封が届けられました。ありがとうございます。

ありがとうございます



町民カレンダー

ピックアップ

8月★町のミニ統計

- 人口()は前月比
- 男 2,937人(△6)
- 女 3,072人(△2)
- 計 6,009人(△8)
- 世帯数 1,445戸(△1)
- ()は1月からの累計
- 出生 3人(32)
- 死亡 5人(38)

- 転入 6人(59)
- 転出 11人(115)
- 結婚 0組(8)
- 離婚 0組(0)
- 火災 0件(0)
- 救急車出動 10件(57)
- ごみ処理量 39t(171)
- 交通事故 2件(11)
- 死者 0人(0)
- 傷者 2人(16)
- 飲酒運転 1人(1)
- 酒気帯び 3人(3)

町民カレンダー

- 5・町連合PTA研究集会(9時) (有隣館)
- 5・子宮がん検診(13時30分) 大琴診療所
- 6・乳がん検診(9時) 八塩小
- 7・ () 老方館
- 8・ () 大蔵館

- 13・ () 高瀬館
- 8・健康大学(1時) 有隣館
- 9・青少年劇場(10時30分) 健康増進センター
- 9・ことぶき大学(10時) 有隣館
- 11・大琴小礎石百一年記念式典他
- 13・本荘由利地区生涯学習をすす

戸籍だより

(7/21) 8/20届出・敬称略

●お誕生おめでとう

- 7/25 佐々木 恵(一徳・長女) 新町
- 7/24 佐藤 豪(俊孝・長男) 時雨山
- 8/5 遠藤久美子(久子・二女) 宿
- 8/5 遠藤 達也(淳子・二男) 下小路
- 7/21 小松運次郎(80・ナカヨ・夫) 新町
- 8/2 長谷山タケヨ(82・昭二・母) 湯出野
- 8/4 佐藤 岩男(57・テル子・夫) 宇戸坂
- 8/13 佐藤欽次郎(82・アイ子・父) 蔵新田

●ごめい福をお祈りします

町民の声を町政に！ 町長の面会日今月は20日

- める集い(10時) 有隣館
- 15・21・秋の清掃週間
- 15・高瀬小創立5年記念式典他
- 25・粗大ごみ収集(玉米地区)
- 27・ () 下郷地区
- 28・交通事故巡回相談(10時) 役場



悩みごと 何でも相談

【相談】夫と性格が合わず、互いに不幸な毎日です。早く別れて再出発したいのですが、夫は世間体から離婚はしないと言い張っています。どうしたらいいでしょうか。

【対応】まず離婚の調停の申し立てを家庭裁判所に出すことです。そこで双方の合意ができると離婚が成立し、これを調停離婚といいます。成立しない場合でも、裁判所が相当と考えると、離婚の審判を下すことがあります。これが審判離婚です。どれでもだめなら、地方裁判所に離婚訴訟を起こすことになります。これが裁判離婚になるわけです。(町心配ごと相談所)

編集室から

紙面の都合で「まちかどトピックス」に「ふるさと交流将棋大会」を掲載できなかった。この欄にて結果を紹介させていただきます。

ふるさと交流将棋大会結果

- 八月十五日・商工会館会場・十二人参加。以下敬称略。
- 優勝・阿部力(本荘市)
- 準優勝・小野裕明(宿市)
- 三位・石渡鉄信(蔵出身・北上市)
- 四位・小松鉦一(下通出身・福島市)

